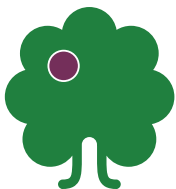




入園のしおり



社会福祉法人なぎ

かわさき あいじえん



昨日まで家庭の中で自己中心的な生活を送ってきたお子さんが、入園というひとつの転換期を迎えるにあたり、集団生活にスムーズに適應できるように、保育園について、また、子どもの集団生活について、あらかじめ保護者の方々に知っておいていただきたいことを綴ったしおりをお届けします。



保育園はこんなところです

保育園は、入園した児童の心身ともに健全な発達を図ることをその目的として、保育を必要とする児童を保護者の方々に代わって保育することを役割とする施設です。

保育理念

川崎愛児園は、児童福祉法に基づき、保育を必要とする乳幼児の保育を行う。保育にあたっては児童の人権や主体性を尊重し、児童の最善の利益のために保護者や地域社会と手を携えて、児童の福祉を積極的に増進するとともに地域における家庭支援を行う。川崎愛児園の職員は、豊かな愛情をもって児童に接し、児童の処遇向上のための知識や技術の習得・向上に努め、家庭支援のために常に社会性や良識の向上を目指して相互啓発する。

保育方針

- 情緒の安定した楽しい生活を送る
- 基本的な生活習慣を習得する
- 健全な心身と豊かな感性を育む

保育目標

正直で大らかな人間性を育む

- 明るく元気な子ども
- やさしい心をもつ子ども
- よく見聞きして話す子ども

1. お友だちと仲良く遊べる「心」と「体」をつくることです。
2. 遊びを通して覚えたり、学んだりしていくところです。
3. 自分の物、他人の物などの区別が分かり、物を大切にできる気持ちを養うところです。
4. 日常生活、社会生活に必要な「よい習慣」を無理なく身につけるところです。
5. 地域の人々と一緒に子育てをするところです。

contents

保育理念・保育方針・保育目標	1
保育園はこんなところです	2
入園前後の生活指導について	3
集団生活をするうえで必要なこと	5
保育園ではこんなことが決められています	6
保育園からのおねがい	9
保育の内容	10
川崎愛児園について	13
発達のめやす	15
子どものかかりやすい感染症	17



入園前後の生活指導について

○入園までにお願したいこと

1. お子さんの健康状態を調べてみましょう。

お子さんの健康状態に少しでも心配のある方は、入園前に医師とよく相談しておきましょう。

2. 生活の時間をきちんと決めておきましょう。

入園するまでに次の生活時間を決めておくとういでしょう。特におやつ等は、欲しがるとすぐに与えるのではなく、時間を決めて与えることが大切です。

- 朝起きる時間
- 食事の時間
- おやつ時間
- 遊びの時間
- 夜寝る時間

3. 基本的な生活習慣は身につけていますか。

お子さんが保護者から離れて生活をするなかで困らないよう習慣をつけておくことが大切です。

- 食事はひとりでできるようにしておきましょう。
- 排泄のときパンツの上げ下げがひとりでできるようにしておきましょう。
- 用便を済ませてから登園する習慣をつけましょう。



○入園後に気をつけていただきたいこと

1. 入園すると、お子さんは気難しくなったりします。

入園後しばらくすると、泣きやすくなったり、怒りっぽくなったり、食欲がなくなったりします。これは集団生活でお子さんの心が疲れているからです。こんな状態の時は、ゆっくりと休ませて精神的な解放感を与えることが大切です。

2. 入園後しばらくすると、登園を嫌がるお子さんがいます。

そのようなときは、園と連絡をとりながら原因を取り除きましょう。

3. 園での様子などについて、楽しい夕食のときや入浴で気持ちのくつろいだときに話しかけましょう。

他のお子さんとの比較はしないようにしましょう。





3 集団生活をするうえで必要なこと

1. 自分の持ち物の区別ができる。

同じような持ち物がたくさんありますから、持ち物にお子さんの名前をはっきり書いて分かるようにしておきましょう。

2. 身支度が自分でできる。

- 衣服を着たり脱いだりすることができるようにしましょう。
- 手を洗ったり、鼻をかむことができるようにしましょう。
- 靴をはいたり脱いだりすることができるようにしましょう。

3. 会話ができる。

会話は、集団生活をしていくうえで、もっとも大切な行為です。入園前まではよく話のできたお子さんでも、集団生活に入ると口を利かなくなることもあります。家庭内の共通語ではなく、誰にでもわかるような正しいことばで話せるようにしましょう。

- 自分の名前を言えるようにしましょう。
- 自分のことを「ぼく」、「わたし」と言えるようにしましょう。
- 名前を呼ばれたら返事ができるようにしましょう。
- 「…がしたい」、「…がほしい」、「…へ行きたい」など、自分の意思が伝えられるようにしましょう。

4. 友だちと楽しく遊べる。

近くに同じ年齢のお友だちがいたら十分に遊ばせましょう。遊びの中で自分のわがままを抑えること、人に譲ること、協力することなどを学ばせましょう。

基本的な態度

「ありがとう」、「ごめんなさい」が言えたり、がまんができること。遊びにはケンカはつきものです。そしてケンカはお子さんの成長にとって非常に大切な体験でもあります。現象面だけをとりあげて相手を悪い子呼ばわりしたり、ケンカをしたというだけで叱ることはやめましょう。



4 保育園ではこんなことが決められています

1. 通園について

- ① 保育園では保護者の送り迎えで通園することを原則としています。
- ② 開園・閉園の時間は次の通りです。

開園時間	7:15	9:30 までに登園してください。
閉園時間	18:45	お迎えの時間を守ってください。 (18:15からは延長保育となります。)

- ③ 保育標準時間認定と保育短時間認定とで保育時間が異なります。

標準時間認定	7:15 ~ 18:15 (11時間)
短時間認定	8:15 ~ 16:15 (8時間)

- ④ 延長保育を実施しています。

延長保育時間	18:15 ~ 18:45 (30分)
--------	---------------------

- ⑤ 欠席や遅刻のとき、勤務の都合などでお迎えの時間がいつもと変わるときなどは、必ず連絡してください。また、居場所がいつもと変わるときなども連絡してください。連絡は必ず9:00までをお願いします。

2. 服装について

服装は、活動しやすいもの、洗濯しやすいもの、吸湿性のあるもの、前あきのものなど、扱いの容易な服を着せてください。また、用便の自立がしにくい服装は避けましょう。なお、登降園時には必ず決められた園児服（園服、帽子、遊び着等）を着せてください。

3. 保健衛生と安全管理について

集団生活から受ける精神的圧迫感や、緊張感からくる疲れなどのために健康のバランスを崩すお子さんがいます。お子さんの健康状態については絶えず注意をしてください。

① 病気等について

- 毎朝、お子さんの様子確かめてから登園させましょう。
- 機嫌が悪いときや様子がおかしいときは、保育士に連絡してください。
- 発熱や下痢をしているようなときは、休ませるようにしましょう。
- 朝の視診等の際に保育士が異常を見つけたときは、降園していただく場合があります。
- 持病（ひきつけ、脱臼、アレルギー、心臓疾患等）のあるお子さんは、あらかじめお知らせください。
- 伝染性の病気またはその疑いのあるときは早急に医師にかかり、医師から指示のあった期間休ませてください。場合によっては、園指定医の指示に従い、クラスまたは園全体を閉鎖することもあります。

3
保育園ではこんなことが決められています

4
保育園ではこんなことが決められています

- 眼病（急性結膜炎等）、皮膚病（とびひ等）のときも、他のお子さんに迷惑となることがありますので、必ず専門医に相談してください。
最終ページにある「子どものかかりやすい感染症」一覧表を参考にしてください。
- 原則として、園での「投薬」はできません。主治医が園での薬の服用を必要と認めた場合に限り、投薬します。その際には投薬依頼票を提出していただきます。
- 保育園で発熱して「37.5度以上」になった場合、連絡をさせていただきます。お子さんの様子によってはお迎えを依頼することがあります。
- 頭髪、爪、下着等は常にチェックして清潔を保ってください。

② 給食について

給食は栄養のバランスを考えた献立となっています。さらに、「好き嫌いをなく食べる」、「残さず食べる」、「食事を楽しむ」、「正しい食事の仕方を身につける」といったことがねらいとして設定されています。

しかし、お子さんのなかには、偏食の激しい子、食の細かい子、時間がかかる子など、いろいろあります。給食を通して徐々に改善していきたいと思っておりますので、ご家庭でも園の方針にご協力ください。また、アレルギー体質で食事に制限の必要があるお子さんは、お知らせください。

- 毎月の献立は、プリントしてお知らせします。
- 離乳食や除去食を希望される方は事前に必要書類の提出をお願いします。

③ 午睡について

お子さんが園生活に慣れてくると毎日の活動も活発になり、夏には暑さによる疲れも出ます。そこで、以下の期間において、午後の一時間半程度、休息を兼ねた午睡を実施します。なお、3歳未満児は年間を通して午睡があります。

期 間	6月初めから9月上旬まで
用 具	掛け布団（タオルケットなど）、敷布団

④ 非常災害対策について

園では非常災害に対する具体的計画を立て、防火管理者を定め、非常災害時の関係機関への通報及び連携体制を整備し、職員に周知するとともに定期的な避難及び救出訓練、消火訓練その他必要な訓練を実施しています。

⑤ 非常時・緊急時の対応等について

地震、台風、火災、伝染病等が発生した場合、お子さん並びに本園職員等の安全確保のためやむを得ず休園、臨時降園、自宅待機、午前中保育等の措置を執ることがあります。

お子さん又は同居家族の方に伝染病等が発生し、他のお子さん方に感染する虞があると判断したときは、臨時休園措置を講じることがあります。

また、暴風警報、大雪警報、特別警報が発令されている場合には園は臨時休園とします。

⑥ 非常時・緊急時の連絡について

保育中、お子さんの体調に急変等が生じた場合には速やかに事前確認させていただいた緊急連絡先、その他医療機関等への連絡を行うなどの措置を講じます。なお、利用者全員への緊急連絡を行う場合については「きずなネット連絡網」を用いた一斉配信メールにてお伝えします。

⑦ 災害共済について

園ではお子さんが安全に生活できるように十分に配慮していますが、病気やけがなど、万一の場合に備えて、全員に独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済へ加入していただきます。加入に際して保護者の皆さまから同意書を提出していただきます。

4. 園と家庭との連絡について

- ①園からご家庭への連絡は、口頭のほか、通信やお知らせなどの文書にて行いますので、お子さんのカバンは毎日確認するようにしてください。なお、緊急時の連絡は、園長より「きずなネット連絡網」を用いた一斉配信メールにて行います。
- ②ご家庭から園への電話連絡は、原則として、午前中は10時まで、午後は3時以降をお願いします。

5. 諸費用について

- ①給食費（口座振替）、絵本代（2歳～6歳児）については、毎月徴収させていただきます。
- ②保護者会費については、3か月ごとに集金いたします。
- ③その他、諸費については諸費徴収袋をお渡ししますので、翌日にお子さんを通じて園へ納入してください。

6. その他

- ①下靴は、はきやすい運動靴にしてください。
- ②通園カバンは、肩掛けタイプのものとし、リュックタイプは避けてください。毎日カバンに入れていただくものは、掛けひも付きの手拭きタオル、連絡帳です。
- ③園服のポケットには、毎日、ハンカチとティッシュを入れてください。
- ④名札は、園服の左胸につけてください。
- ⑤持ち物には必ず名前を書いて、誰のものかすぐに分かるようにしておいてください。



保育園からのおねがい

1. 入園までに用意していただくもの

①手拭きタオル

- タオルは吊り下げることができるように掛けひもをつけてください。

②上靴および上靴袋

- 上靴は、教育シューズとします。
- 上靴袋は、上靴を入れて吊り下げられるようなものにしてください。

2. 0歳～2歳児クラスのみ準備していただくもの

紙おむつ	1袋	
ビニール袋	1束	なくなり次第連絡しますので、補充してください。
ティッシュペーパー	1箱	また、袋には名前を書いてください。
おしり拭き	2パック	
手拭きタオル	1本	毎日持ち帰りますので、洗濯をして、翌日は新しいものを持たせてください。
食事前エプロン (0歳～1歳児のみ)		
午睡用布団セット 下敷用タオルケット	1組	夏はタオルケット2枚、冬は掛布団とタオルケット又は毛布を1枚用意してください。

3. その他のお願い

- ① 朝食はきちんととるようにしましょう。
- ② 登園前に用便を済ませる習慣をつけてください。
- ③ 玩具、金銭、菓子などは絶対に持たせないでください。
- ④ 家に帰ったら、お子さんと1日のことを話し合ってください。
- ⑤ つりズボン、うしろファスナーなどの服はご遠慮ください。
- ⑥ ご意見やご要望、連絡されたい事項などは、お手紙かお電話でお願いします。



保育の内容

子どもは豊かに伸びてゆく可能性をもって育っています。

子どもたちがよりよい未来をつくり出す力の基礎を培えるよう、保育園では、0歳から6歳まで、それぞれの発達に応じたいろいろな経験ができるようにしています。

健康・人間関係・環境・ことば・表現、さらに食育といった要素を保育計画に取り入れ、ひとりひとりをみつめて心と体が健やかに育つよう、養護と教育が一体となった保育を実施しています。

健康

健康で安全な生活をするために必要な基本的な生活習慣や態度が身につくように保育しています。



人間関係

他者と交わり、支え合って生活することができるように自立心を育み、人と関わる力が身につくように保育しています。

- 喜んで登園し、先生や友達に親しむ。
- 自分で考え、自分でできることは自分でする。
- 友達と積極的にかかわりながら喜びや悲しみを共感し合う。
- 友達と一緒に遊びや活動を進める楽しさを知る。
- 自分の生活に関係の深いさまざまな人に親しむ。



環境

自然の様子や社会の出来事など、身近な環境に積極的にかかわり、生活に取り入れていこうとする意欲が育まれるよう保育しています。

- 自然の中で遊んだりして、四季の変化を感じたり、身近な動植物にかかわり、生活に取り入れていこうとする意欲を育てる。
- 日常生活の中で、数や量、形などに関心を持つようにする。
- 家庭や保育園、地域などの行事に喜んで参加する。



ことば

自分が経験したことや考えたことなどをことばを使って表現すること、同時に、相手の話を聞こうとする意欲や態度を育みます。

- 先生や友達のことばに興味と関心を持ち、親しみをもって聞いたり話したりする。
- 「したこと」、「見たこと」、「聞いたこと」、「感じたこと」などを自分なりのことばで表現する。
- 親しみをもって日常のあいさつをする。
- 絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像する楽しさを味わう。



表現

豊かな感性を育み、感じたことや考えたことを表現する意欲を育て、のびやかな創造性が培われるよう保育しています。

- 友達と一緒に音楽を聴いたり、歌を歌ったり、体を動かしたり、楽器を鳴らしたりして楽しむ。
- 感じたこと、思ったこと、想像したことなどを、さまざまな素材や用具を使って、自由に描いたり作ったりすることを楽しむ。
- 童話、絵本、視聴覚教材などを観たり聴いたりして、イメージを広げ、描いたり作ったり、さまざまに表現して遊ぶ。
- 身近な生活経験を「ごっこ遊び」に取り入れて遊ぶ楽しさを味わう。



食育

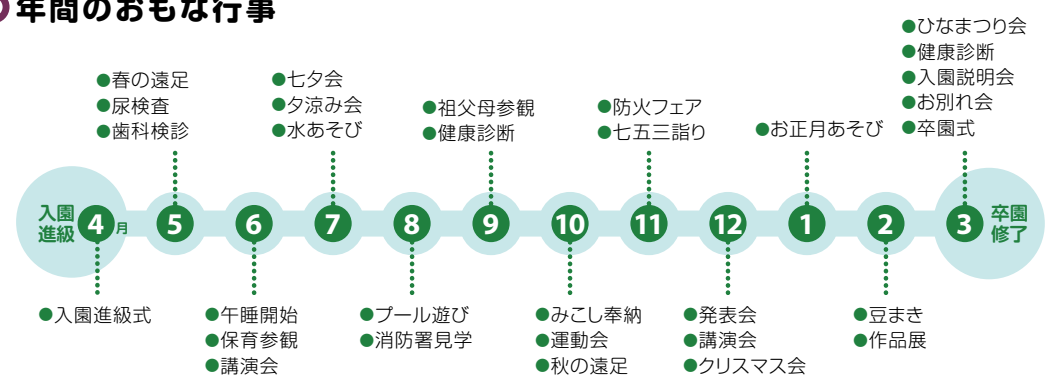
自然の恵みに感謝し、食べることの大切さや楽しさを感じとることができるよう保育しています。併せて食事のマナーを身につけ行儀よく食べることができるように保育しています。





川崎愛児園について

○年間のおもな行事



※身体測定、お誕生会、避難訓練・消火訓練、神社参拝は毎月実施しています。

○一日の概要

時間	3歳未満児	3歳以上児
7:15	開園 登園・視診・持ち物の始末	
8:00	あそび	
8:15	保育短時間認定児 登園・視診・持ち物の始末	
9:30	排泄・手洗い・おやつ	・健康・人間関係 ・環境・言葉・表現
10:00	あそび	
11:00	排泄・手洗い・給食	11:45 排泄・手洗い・給食・うがい
12:00	排泄・手洗い・午睡	12:30 あそび
14:00	着替え・排泄・手洗い・おやつ	14:30 排泄・手洗い・おやつ・うがい
15:00	あそび	
16:00	個別視診・降園	保育短時間認定児 16:15まで 保育標準時間認定児 18:15まで
18:15	延長保育 開始	
18:45	閉園	

○延長保育について

お仕事などの理由で通常保育の時間を超えて保育が必要なご家庭には、延長保育を提供しています。延長保育の詳細については、別にお渡しする「延長保育のご利用について」をご参照ください。なお、土曜日の延長保育はありません。

延長保育時間 **18:15 ~ 18:45** (30分)

延長保育に関する留意事項

1. 延長保育を希望される方には「延長保育申込書」を提出していただきます。
2. 延長保育の月額利用料金は第一子2,500円、第二子以降は1人1,000円です。
3. 単発での利用料金は、1日につき第一子500円、第二子以降は1人200円です。
4. 単発で延長保育を希望される方は、できるだけ当日の朝までにその旨をお知らせください。
5. お迎えの最終時間(18:45)を守っていただけない場合には、延長保育の利用をお断りすることもございます。

○子育て支援センター なぎの木

子育て支援センターは、親子で楽しく遊んだり、情報交換をしたりして友だちの輪を広げるところです。「なぎの木」は、在宅家庭の親子を応援します。みんなで誘いあって気軽に遊びに来てください。また、子育てに関する相談も受け付けていますので、何でも気軽に声を掛けてください。

場 所 川崎愛児園 遊戯室
 開館日 毎週 火・水・木 曜日
 時 間 **9:00~15:00**
 (11:30~12:30はお昼休み)
 ※開館日は、愛児園の行事等により変更となる場合もあります。

	食 事	排 泄	衣 服 着 脱	こ と ば	運 動
0歳 ▶ 1歳 (保育者の配慮)	<ul style="list-style-type: none"> ● 個人差に応じて授乳する。 ● ミルク以外の飲み物やスプーンから飲むことに慣れるようにし、状況を見極めながら離乳を開始する。 ● 離乳を進めながら徐々に幼児食へと移行する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● おむつは汚れたらこまめに取り替え、きれいになった心地よさを感じることができるようにする。 ● ひとりひとりの用便間隔を把握して、優しくことば掛けを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 気温や湿度に留意して、健康状態に応じて衣服を調節する。 ● 衣服は常に清潔を保つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 泣き声や喃語、片言の発語が始まる。 ● 保育者は語りかけたり、歌いかけたり、また子どもの発語に優しく応答して、発語に始まる人との関わりを子どもが楽しむようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 寝返りや腹ばい、屈伸などの全身運動が活発になる。 ● はいはい、お座り、伝い歩き、立つ、歩くなど運動機能の発達が目覚ましく、保育者はひとりひとりの状態に見合った活動を十分に促す。 ● つまむ、叩く、ひっぱるなど手や指を十分にに使わせて遊ぶ。
1歳 ▶ 2歳	<ul style="list-style-type: none"> ● こぼしながら、自分で食べる。 ● 噛む、飲み込める、ができるようになる。 ● 哺乳瓶をやめ、コップで飲める。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分で便器に座る。 ● 排泄があることを言葉で伝えられる。(シーシー、ウンウン) 	<ul style="list-style-type: none"> ● ひとりで靴が脱げる。また、はこうとする。 ● パンツがぬげる。 ● パンツがはける。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の知っている物があると名前を言ったり指を指したりする。 ● いや、ない、ちょうだい、かして、などが言える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 歩行の完成。 ● 歩行を中心に、押す、引っ張る、登る、降りる、滑る、潜る、またぐ、しゃがむ等の運動をして遊ぶ。
2歳 ▶ 3歳	<ul style="list-style-type: none"> ● 食事の時間内は座って食べることができる。 ● スプーン、箸を使って食べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 排尿、排便を知らせ、便所でする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 簡単なもの(パンツやランニング)はひとりで着脱する。 ● ボタンのはめはずしをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 簡単な挨拶ができる。(おはよう、さようなら、ありがとう、ごめんなさい) ● してほしいことや、したいことを話す。(○○かして、など) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 両足とびができるようになる。 ● 階段登り等がしっかりできるようになる。
3歳 ▶ 4歳	<ul style="list-style-type: none"> ● 箸を使って食べる。 ● 行儀よく食べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分から便所に行き、排泄する。 ● 紙を使う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ボタンのはめはずしが上手にできる。 ● 自分で着脱する。 ● 脱いだ衣類を所定の場所に置く。 	<ul style="list-style-type: none"> ● なぜ、どうしてなどの質問がたくさん出る。 ● 絵本やお話、紙芝居等を喜んで見たり聞いたりする。 ● したいこと、してほしいことを言葉で言えるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 歩く、走る、飛ぶなどの基本的な運動機能が確実になる。 ● 片足立ちなどバランスをとった運動ができるようになる。
4歳 ▶ 5歳	<ul style="list-style-type: none"> ● 箸が正しく持てる。 ● 食器を良い姿勢で正しく持ち、こぼさずに食べる。 ● 一定時間内(30分)に食べ終わる。 ● 嫌いなものでも食べられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 便の後始末ができる。 ● 衣類や便所を汚さないで排泄できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 衣類の前後、表裏が分かる。 ● 紐を固結びに結ぶことができる。 ● 脱いだ衣類の裏返しを直したり、着替え易いように畳んでおける。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 遊びや日常生活に必要な言葉を正しく使う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● スキップ、ケンケン飛び等ができるようになる。 ● ボールを投げる、受ける、蹴る、つく、等ができるようになる。
5歳 ▶ 6歳		<ul style="list-style-type: none"> ● 1日の排便のリズムを整えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 蝶々結びができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 身近な文字に興味や関心をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 歩く、走る、飛ぶ、投げるなどが機敏にできるようになる。 ● 縄跳びで、連続とび、大縄とびができるようになる。 ● 鉄棒の前まわりができるようになる。



かわさき あいじえん

〒519-0211 三重県亀山市川崎町字上垣内 4928 番
TEL.0595-85-8018 FAX.0595-85-8019